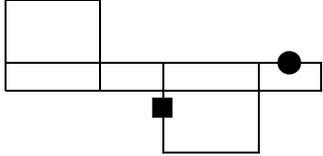
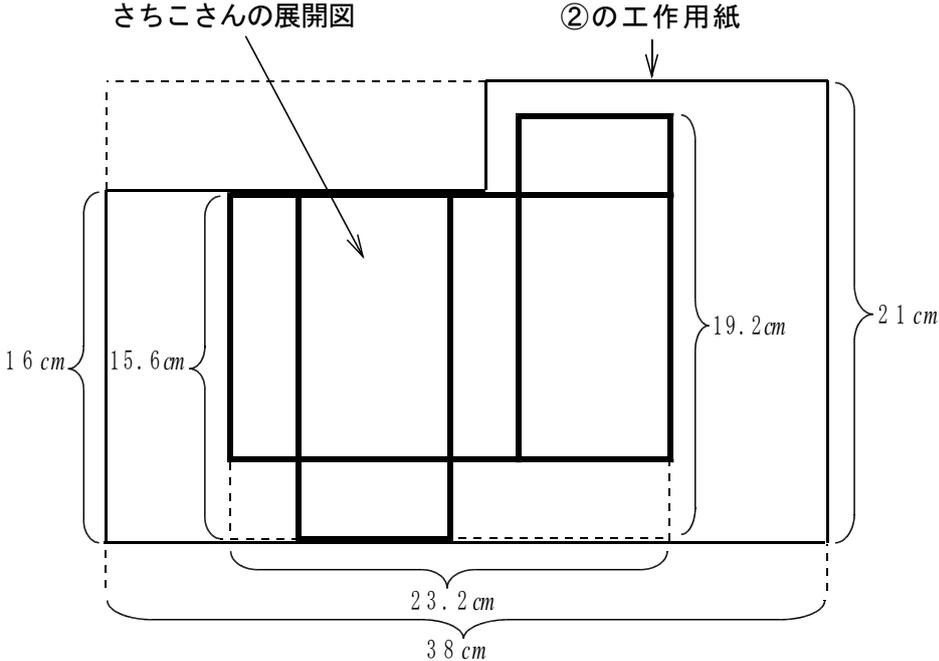


適性検査Ⅱ 【解答例】

1

(1)	ウ
(2)	
(3)	<p>[ひろきさんが考えた式 <math>14 \div 2</math> の説明]  展開図には、組み立てる時にセロハンテープでとめなければならない辺が14ある。その14の辺を2つずつ重ねてセロハンテープでとめるから、2で割って <math>14 \div 2</math> になる。</p> <p>[さちこさんが考えた式 <math>12 - 5</math> の説明]  組み立てる箱には、辺が12ある。そのうちの5つは折ってできる辺だから、5を引いて <math>12 - 5</math> になる。</p>
(4)	<p>( ② ) の工作用紙に、( さちこ ) さんの展開図を使うと箱を作ることができる</p> <p>[理由]  ひろきさんの展開図を使うためには、<math>40\text{ cm}</math> と <math>19.6\text{ cm}</math> の長さが必要になるが、①～③の工作用紙では、その長さをとることができない。同じように、さちこさんの展開図を使うためには、<math>23.2\text{ cm}</math> と <math>19.2\text{ cm}</math> の長さが必要になるが、①と③の工作用紙では、その長さをとることができない。</p> <p>②の工作用紙に、下の図のようにさちこさんの展開図をかくと、箱を作ることができる。</p> 

2

<p>(1)</p>	<p>[観察する時刻]</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td style="padding: 2px;">1回目</td> <td style="padding: 2px;">午前6時</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">2回目</td> <td style="padding: 2px;">昼12時</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">3回目</td> <td style="padding: 2px;">午後6時</td> </tr> </table> <p>※日中、ヒマワリの向きの変化が分かりやすい時刻であればよい。</p>	1回目	午前6時	2回目	昼12時	3回目	午後6時	<p>[理由]</p> <p>ヒマワリのつぼみや花が、太陽に向かって向きを変えるかどうかを調べるためには、太陽が東にある朝、南にある昼、西にある夕方というように、はっきりと方向が違う時に観察すると比べやすいから。</p>
1回目	午前6時							
2回目	昼12時							
3回目	午後6時							
<p>(2)</p>	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">付け加えて記録すること</th> <th style="width: 70%;">理 由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="padding: 5px;">太陽の方向</td> <td style="padding: 5px;">太陽に向かって向きを変えるかどうかを調べるためには、ヒマワリの向いている方向だけでなく、太陽の方向も記録する必要があるから。</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">つぼみや花の成長のようす</td> <td style="padding: 5px;">つぼみの時期と開花した後のヒマワリの向いている方向のちがいを調べるためには、つぼみなのか開花した後なのかを記録する必要があるから。</td> </tr> </tbody> </table>		付け加えて記録すること	理 由	太陽の方向	太陽に向かって向きを変えるかどうかを調べるためには、ヒマワリの向いている方向だけでなく、太陽の方向も記録する必要があるから。	つぼみや花の成長のようす	つぼみの時期と開花した後のヒマワリの向いている方向のちがいを調べるためには、つぼみなのか開花した後なのかを記録する必要があるから。
付け加えて記録すること	理 由							
太陽の方向	太陽に向かって向きを変えるかどうかを調べるためには、ヒマワリの向いている方向だけでなく、太陽の方向も記録する必要があるから。							
つぼみや花の成長のようす	つぼみの時期と開花した後のヒマワリの向いている方向のちがいを調べるためには、つぼみなのか開花した後なのかを記録する必要があるから。							

3

<p>(1)</p>	<p>やかんの中の水は、温めると液体から気体である水じょう気になる。人のはく息にも水じょう気がふくまれている。どちらの水じょう気も、冷たい窓ガラスにふれると冷やされて、水てきに変化するので、窓ガラスがくもる。</p>
<p>(2)</p>	<p>穴から水じょう気をにがし、ふたが持ち上がったたり、お湯がふきこぼれたりするのを防ぐ。</p> <p>穴から空気を取り入れて、注ぎ口からお湯を出やすくする。</p>